

事務事業実績測定調査

事務事業名称	国民健康保険保健事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	健康福祉部				課	地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち											
	実行計画名		6-1.保健医療制度の充実											
1. 事務事業の概要														
種類	市民サービス			特性	選択的事業				区分	一般事務事業				
事業期間	不明			年度	～				年度まで					
根拠法令等	国民健康保険法													
関係補助金名称												サンセット	～	
関係附属機関名称	国民健康保険運営協議会													
事業対象	メインターゲット	75歳未満の市民で他の医療保険の被保険者・被扶養者でない人(生活保護受給者を除く)												
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題	加入者に健康増進の意識啓発を行う必要がある。												
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	加入者に対する健康増進事業を行うことで、健康の保持増進が実現できている。													
事業概要	健康増進の意識啓発のために、啓発パンフレットやリーフレットの配布、骨密度測定や健康相談などを行う。													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	国民健康保険加入者が、健康増進の意識を持つ。				健康増進の意識啓発事業に、多くの加入者が参加する。				健康増進の意識啓発事業を実施する。					
指標設定	アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)					
	指標説明	健康講座参加者の理解度 【算出式:アンケートにより「理解できた」と回答した人/参加者×100】				健康講座参加者数				健康講座開催回数				
		単位		%		単位		人		単位		回		
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		100	100	100	100	160	160	160	160	2	2	2	2	
	達成度	0%				0%				0%				
分析	新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発出のため事業を中止。				新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発出のため事業を中止。代わりに、中止決定までの参加申し込み者や集団健診の場等にて計483人にパンフレットを配付し、啓発を行った。				新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言発出のため事業を中止。					

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.05
任期付職員	0.10
会計年度任用職員	0.77
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	5,963	6,844	8,798		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	2,383	2,357	1,780		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	8,346	9,201	10,578		
	物件費計	2,823	2,994	4,510	5,594	81%	
	歳出計	11,169	12,195	15,088			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	2,823	2,994	4,691	5,050		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	2,823	2,994	4,691	5,050		
	一般財源	8,346	9,201	▲ 181	544		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、事業実施は困難であった。代替え策として、パンフレットを配付し啓発を行った。加入者に対する健康増進の取り組みは、回数等十分な状況ではないが、今後も新型コロナウイルス感染対策を講じた上での健康増進の取り組みが必要である。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	新型コロナウイルス感染防止に配慮しながら、健康増進のための取り組みを実施する

事務事業実績測定調査

事務事業名称	健康づくり推進事業										
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部			課	地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち									
	実行計画名	6-2.健康づくりの推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	1984(S59)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	健康増進法				
関係補助金名称			サンセット	～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	すべての市民			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	各々が健康づくりに関しての種々の課題を持つが、第2次枚方市健康増進計画中間評価においては、「適正体重を維持する」ことが優先課題となっている			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民一人ひとりが自己の健康について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる				
事業概要	各種事業の実施 ①健康づくりボランティア講座・フォローアップ研修(健康づくりボランティアの養成およびボランティアのスキルアップ) ②地区組織活動(健康ボランティアが中心となった健康づくり活動) ③健康増進計画推進事業(健康づくりを支援するためのイベントや取り組み・食育推進イベント)				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		市民一人ひとりが自己の健康について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				健康づくりボランティアとして活動するための知識を学ぶ機会となる。				健康づくりボランティア講座・フォローアップ研修を実施する。			
指標設定	指標説明	事業アンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合 【算出式:(準備期+実行期+維持期)と回答した人数/イベントの参加者×100】				健康づくりボランティア数				健康づくりボランティア講座・フォローアップ研修の開催回数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	78	78	78	78	304	311	318	325	14	14	14	14
	実績	96				266				9			
	達成度	123%				88%				64%			
	分析	想定より多い。				退会者数がありボランティア数が減少した。				新型コロナウイルス感染症拡大のため、開催回数が減少した。			
ロジックモデル②		市民一人ひとりが自己の健康について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				市民が参加する。				地区組織活動を実施する。			
指標設定②	指標説明	事業アンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合 【算出式:(準備期+実行期+維持期)と回答した人数/イベントの参加者×100】				地区組織活動への参加者数				地区組織活動の実施回数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	78	78	78	78	3,753	3,826	3,899	3,972	130	130	130	130
	実績	96				601				41			
	達成度					16%				32%			
	分析	想定より多い。				新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施回数が減少し、参加者数が減少した。				新型コロナウイルス感染症拡大の影響により実施回数が減少した。			

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③		市民一人ひとりが自己の健康について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				市民が参加する。				健康増進計画推進事業を実施する。			
指標設定 ③	指標説明	事業アンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合 【算出式:(準備期+実行期+維持期)と回答した人数/イベントの参加者×100】				ウォーキングイベント参加者数				ひらかたカラダづくりトライアル マップ配付数			
		単位 %				単位 人				単位 枚			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込)	78	78	78	78	500	500	500	500	6,000	6,000	6,000	6,000
	実績	96				0				6,000			
	達成度					0%				100%			
	分析	想定より多い。				新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止				予定通り配付			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.05
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.21
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	11.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	27,669	26,697	16,349		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	55	53	785		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	27,724	26,750	17,134		
	物件費計	2,402	2,061	1,725	2,710	64%	
歳出計		30,126	28,811	18,859			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	32	358	43	235		
	受益者負担(使用料・手数料)	42	31	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	86		
	歳入計	74	389	43	321		
一般財源		30,052	28,422	1,682	2,389		

5. 総括的分析

総括的分析	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、地域の市民を集めた地区組織活動や、ウォーキングイベントが中止となったが、オンラインでの講演会、健康ウォーキングマップの配付、1日の運動、食事、歯磨きの記録を残す「120日チャレンジ」の普及など、個人で出来る健康づくりの啓発に力をいれた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 健康づくりボランティアを養成するとともに、健康づくりボランティアの活動を支援する。 第2次枚方市健康増進計画に基づく取り組みを推進する。 オンラインやSNS等を活用し、健康づくりについて普及啓発する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	成人保健事業(がん対策事業除く)													
測定年度	2020(R2)年度				部	健康福祉部				課	地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち											
	実行計画名		6-1.保健医療制度の充実											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業	
事業期間	1983(S58)年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	健康増進法					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称	健康増進計画審議会					
事業対象	メインターゲット	健康増進法の対象となる市民				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	各世代や個人が抱える健康課題は多種多様であり、求める情報も様々である中、適切な情報の浸透が十分でない。				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	市民一人ひとりが自己の健康(生活習慣病(がんを除く))について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる					
事業概要	健康増進法第17条1項、第19条2による事業 健康手帳交付事業・健康教育事業・健康相談事業・訪問指導事業・住民健康診査事業					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)				
ロジックモデル		市民一人ひとりが自己の健康(生活習慣病)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				市民が健康手帳を日々の健康づくりに活用する。				健康手帳交付事業を実施する。				
指標設定	指標説明	健康教育のアンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合 【算出式:(準備期+実行期+維持期)と回答した人数/健康教育の参加者×100】				健康手帳交付者数				健康手帳作成数				
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	単位	%			単位	人			単位	部			
	指標数値	目標(見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	指標数値	実績	78	78	78	78	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000	13,000
	指標数値	達成度	123%				22%				100%			
	指標数値	分析	想定より多い				想定より低かった				想定通り			
ロジックモデル②		市民一人ひとりが自己の健康(生活習慣病)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				市民が参加する。				健康教育事業を実施する。				
指標設定②	指標説明	健康教育のアンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合 【算出式:(準備期+実行期+維持期)と回答した人数/健康教育の参加者×100】				健康教育参加者数				健康教育事業実施回数				
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				
	指標数値	単位	%			単位	人			単位	回			
	指標数値	目標(見込み)	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	指標数値	実績	78	78	78	78	3,527	3,596	3,665	3,734	130	130	130	130
	指標数値	達成度					21%				33%			
	指標数値	分析	想定より多い				新型コロナウイルス感染症の影響もあり、想定より低かった。				新型コロナウイルス感染症の影響もあり、想定より低かった。			

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③		市民一人ひとりが自己の健康(生活習慣病)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				対象者が健康について相談を受ける。				健康相談事業を実施する。			
指標設定③	指標説明	健康教育のアンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合 【算出式:(準備期+実行期+維持期)と回答した人数/健康教育の参加者×100】				健康相談者数				定例・定例外の健康相談実施回数			
		単位 %				単位 人				単位 回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	78	78	78	78	4,000	4,000	4,000	4,000	136	136	136	136
	実績	96				420				288			
	達成度					11%				175%			
分析	想定より多い				新型コロナウイルス感染症の影響で、集団会場での実施が減少し想定より低かった。				新型コロナウイルス感染症の影響で、個別での相談が多かったため想定より多かった。				
ロジックモデル④		市民一人ひとりが自己の健康(生活習慣病)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				対象者が訪問指導を受ける。				訪問指導事業を実施する。			
指標設定④	指標説明	健康教育のアンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合 【算出式:(準備期+実行期+維持期)と回答した人数/健康教育の参加者×100】				訪問指導延べ人数				訪問指導実施回数			
		単位 %				単位 人				単位 回			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	78	78	78	78	67	67	67	67	67	67	67	67
	実績	96				85				85			
	達成度					127%				127%			
分析	想定より多い				想定より多かった				想定より多かった				
ロジックモデル⑤		市民一人ひとりが自己の健康(生活習慣病)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				市民が住民健康診査を受ける。				住民健康診査事業を実施する。			
指標設定⑤	指標説明	健康教育のアンケートで自己の健康について関心を持っている市民の割合 【算出式:(準備期+実行期+維持期)と回答した人数/健康教育の参加者×100】				住民健康診査40歳以上の受診率				実施医療機関数			
		単位 %				単位 %				単位 箇所			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	78	78	78	78	11.80	12.30	12.80	13.30	125	125	125	125
	実績	96				8				127			
	達成度					68%				102%			
分析	想定より多い				新型コロナウイルス感染症の影響もあり、想定より低かった。				想定どおりであった。				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.80
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.19
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人員費	正職員、再任用、任期付	20,275	19,080	14,355	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	885	819	747	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人員費計	21,160	19,899	15,102	
	物件費計	12,095	11,876	8,749	13,687	64%
	歳出計	33,255	31,775	23,851		
歳入	国庫支出金	0	0	0	0	
	府支出金	4,376	4,443	3,049	3,612	
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	0	
	歳入計	4,376	4,443	3,049	3,612	
一般財源		28,879	27,332	5,700	10,075	

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響で、事業が中止になったものが多く全体的には低調な結果となったが、必要な方には個別相談や訪問での対応とした。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	健康教室の内容充実を図り、地域への出前講座などをして、幅広い層への健康づくりに関する知識の普及啓発を目指す。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	禁煙支援事業											
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部			課	地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち									
	実行計画名		6-2.健康づくりの推進									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業		
事業期間	2020(R2)年度		年度	~	2025(R7)年度	年度まで	
根拠法令等	健康増進法						
関係補助金名称	禁煙支援事業補助金			サンセット	2020(R2)年度	~	2024(R6)年度
関係附属機関名称							
事業対象	メインターゲット	禁煙を希望する市民					
	サブターゲット						
	ターゲットが抱える課題	禁煙を持続して行うことが難しい。					
	ターゲットが抱える課題						
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	禁煙する人の増加や望まない受動喫煙を生じさせることのない環境づくりにより、市民の健康意識の向上や生活習慣病に罹患する人が減少する。						
事業概要	喫煙及び受動喫煙による健康被害を減らし、禁煙を促進するため、健康保険による禁煙外来治療費の補助を行う。禁煙を希望する人に対して、禁煙に向けたサポートを行う。禁煙希望者には事前に禁煙宣言を記入してもらい、禁煙達成後に費用の補助を行う。禁煙達成後、一定期間継続して禁煙が確認できた場合、さらにひらボを付与する。禁煙支援と合わせて、望まない受動喫煙を生じさせることのない環境づくりを推進する。						

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		市民の喫煙率の低下				禁煙しようとする市民が増える				禁煙支援事業を実施する			
		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
指標設定	指標説明	市民の喫煙率				禁煙支援事業受付者のうち禁煙達成者の割合				禁煙支援事業受付数			
		単位		%		単位		%		単位		人	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込み)	11.50	11	10.50	10	80	80	80	80	100	100	100	100
	実績	11				65				165			
達成度	104%				81%				165%				
分析	想定より禁煙率は高かった				想定より少ない(達成者のみの数字で、現在治療中の数は入っていない)				想定より多い				

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	1.10
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	—	8,773	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	—	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	—	8,773	
	物件費計	—	—	1,767	1,927	92%
	歳出計	—	—	10,540		
歳入	国庫支出金	—	—	0	0	
	府支出金	—	—	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	—	0	0	
	市債	—	—	0	0	
	その他	—	—	1,767	1,886	
	歳入計	—	—	1,767	1,886	
	一般財源	—	—	0	41	

5. 総括的分析

総括的分析	禁煙支援事業受付者数と禁煙達成者が100人を超えた。事業開始時に広報で特集の記事を掲載するとともに、医師会加入医療機関や薬剤師会加入処方箋薬局においてチラシやポスター、ポケットティッシュなど配布し、あらゆる機会での周知に努めた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	継続して、周知を行うとともに補助金申請されていない受付者に対するフォローや、補助金申請後から一定期間のフォロー内容を検討する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	食育推進事業										
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部			課	地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち								
	実行計画名		6-2.健康づくりの推進								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2006(H18)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	食育基本法、枚方市食育推進計画				
関係補助金名称				サンセット	～
関係附属機関名称	枚方市食育推進計画審議会				
事業対象	メインターゲット	乳幼児から高齢者まで全ての市民			
	サブターゲット	生産者・教育機関・食品関係事業者等、食に関わる事業者			
	ターゲットが抱える課題	食に関する正しい知識の不足、食育を実践する人材の育成			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	子どもから高齢者まで、一人ひとりが「食」に関する正しい知識と「食」を選択する判断力を身につけ、生涯にわたり健康寿命の延伸につながる健全な食生活を実践するとともに、家庭・教育機関・地域・生産者等が相互に連携し、ネットワークを築きながら市民活動としての食育の推進に取り組む。				
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・枚方市食育推進ネットワーク会議を開催し、関係機関・団体の情報の共有と連携を図り、食育を推進する。 ・枚方市食育推進ネットワーク会議及び関係機関・団体と連携し、食育の普及啓発を目的としたイベントを開催する。 				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	食育に関する正しい知識が浸透し、健全な食生活が実践される。				アウトプット (活動結果)	各家庭や教育機関、地域等で幅広く食育に関する取り組みが実践される。				インプット (活動)	枚方市食育推進ネットワーク会議と連携し、食育推進に関する取り組みを実施する。			
	指標説明	朝食を欠食している小学生の割合				アウトプット (活動結果)	食に関する知識を啓発するための冊子「ひらかた食育Q&A」の実施数				インプット (活動)	枚方市食育推進ネットワーク会議の開催回数			
指標設定	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	0	0	0	0	12,000	12,000	12,000	12,000	3	3	3	3		
	実績	0				10,836				2					
	達成度	0%				90%				67%					
	分析	全国学力・学習状況調査(文部科学省)の結果を活用しているが、一斉休校の措置により調査が実施されなかった				緊急事態宣言発令等での健康教室の延期・中止により、大人用の実施数が減少した				予定通り2回開催 コロナ禍のため、内1回は書面開催とした					
ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)	食育に関する正しい知識が浸透し、健全な食生活が実践される。				アウトプット (活動結果)	多くの市民が食育に関心を持つ。				インプット (活動)	食育の普及啓発を目的としたイベントを開催する。			
	指標説明	朝食を欠食している小学生の割合				アウトプット (活動結果)	ひらかた食育カーニバル参加者アンケートで「食育に関心がある」と回答した人の割合				インプット (活動)	ひらかた食育カーニバル参加者数(延べ人数)			
指標設定②	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標					
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5		
	目標 (見込み)	0	0	0	0	80	80	80	80	6,000	6,000	6,000	6,000		
	実績	0				0				0					
	達成度	0%				0%				0%					
	分析	全国学力・学習状況調査(文部科学省)の結果を活用しているが、一斉休校の措置により調査が実施されなかった				新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ひらかた食育カーニバルを中止したので実施無し				新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止					

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.90
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	12.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	11,211	10,182	15,153		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	193	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	171		
		人件費計	11,211	10,375	15,324		
	物件費計	1,572	1,532	3,254	4,864	67%	
	歳出計	12,783	11,907	18,578			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	0	0	0	0		
一般財源		12,783	11,907	3,254	4,864		

5. 総括的分析

総括的分析	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、飲食を伴う食育活動や、多くの人が集まる講座やイベントが中止となったが、オンラインイベントやレシピ動画の配信等、情報発信の方法を工夫し、食育に関する正しい知識を普及した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 第3次枚方市食育推進計画に基づく取り組みを推進する。 集合型のイベントや講座に限らず、インターネットやSNS等を活用し、効果的に食育について周知啓発できるよう努める。 食育に関心のない人や、関心は持っているが実践できていない人も自然とバランスの良い食事を選ぶことができる食環境づくりについて、様々な手法での展開を検討していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	特定健康診査・特定保健指導事業												
測定年度	2020(R2)年度				部	健康福祉部				課	地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4					
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち										
	実行計画名		6-1.保健医療制度の充実										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業	
事業期間	2008(H20)年度、2009(H21)年度(人間ドック費用助成)年度		年度	~	年度まで	
根拠法令等	高齢者の医療の確保に関する法律、枚方市国民健康保険被保険者人間ドック受診費用助成要綱					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	40歳以上75歳未満の国民健康保険加入者				
	サブターゲット	30歳以上40歳未満の国民健康保険被保険者				
	ターゲットが抱える課題	糖尿病等の生活習慣病に起因する有病者が増加している				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	健診受診により糖尿病等の生活習慣病の発症や重症化を予防する					
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> ・メタボリックシンドロームに着目した健康診査の実施および健診結果に基づく保健指導を実施している。 ・特定健康診査の対象者(40歳~74歳)について、特定健康診査の受診に代えて、人間ドックを受診した場合に費用の一部を助成する。 ※ 助成額 13,000円(特定健康診査項目の相当額)					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム(活動効果)	アウトプット(活動結果)	インプット(活動)																																																						
		健診受診により糖尿病等の生活習慣病が予防できる。	特定健康診査の受診率が向上する。	特定健康診査の受診を勧奨する。																																																						
指標設定	指標説明	生活習慣病の患者数	特定健康診査受診率 【算出式:受診者数/対象者数×100】	特定健康診査受診対象者数																																																						
	指標種類	減少することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標																																																						
	指標数値	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>人</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>35,000</td> <td>35,000</td> <td>35,000</td> <td>35,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>33,262</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	単位	人	R2	R3	R4	R5	35,000	35,000	35,000	35,000	実績				33,262				<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>%</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>40</td> <td>45</td> <td>45</td> <td>50</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>30.10</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	単位	%	R2	R3	R4	R5	40	45	45	50	実績				30.10				<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>人</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>58,000</td> <td>58,000</td> <td>58,000</td> <td>58,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>56,612</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	単位	人	R2	R3	R4	R5	58,000	58,000	58,000	58,000	実績				56,612			
	単位	人																																																								
	R2	R3	R4	R5																																																						
	35,000	35,000	35,000	35,000																																																						
	実績																																																									
33,262																																																										
単位	%																																																									
R2	R3	R4	R5																																																							
40	45	45	50																																																							
実績																																																										
30.10																																																										
単位	人																																																									
R2	R3	R4	R5																																																							
58,000	58,000	58,000	58,000																																																							
実績																																																										
56,612																																																										
達成度	105%		75%		98%																																																					
分析	目標値より減少している		前年と比べ受診率が3.6%低下。新型コロナウイルス感染症による受診控えや日曜日健診の一部中止等の影響があった。(R2はR3.6月末暫定値)		対象者数については変化はなかった。(R2はR3.6月末暫定値)																																																					
ロジックモデル②		健診受診により糖尿病等の生活習慣病が予防できる。	申請者に費用の一部を助成する。	特定健康診査の受診に代えて人間ドックを受診した場合に、費用助成の申請を受け付ける。																																																						
指標設定②	指標説明	生活習慣病の患者数	人間ドックの受診に対する助成件数	人間ドックの受診に対する申請件数																																																						
	指標種類	減少することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標																																																						
	指標数値	<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>人</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>35,000</td> <td>35,000</td> <td>35,000</td> <td>35,000</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>33,262</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	単位	人	R2	R3	R4	R5	35,000	35,000	35,000	35,000	実績				33,262				<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>件</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>1,500</td> <td>1,500</td> <td>1,500</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1,209</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	単位	件	R2	R3	R4	R5	1,500	1,500	1,500	1,500	実績				1,209				<table border="1"> <tr> <th>単位</th> <th>件</th> </tr> <tr> <td>R2</td> <td>R3</td> <td>R4</td> <td>R5</td> </tr> <tr> <td>1,500</td> <td>1,500</td> <td>1,500</td> <td>1,500</td> </tr> <tr> <td>実績</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>1,209</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	単位	件	R2	R3	R4	R5	1,500	1,500	1,500	1,500	実績				1,209			
	単位	人																																																								
	R2	R3	R4	R5																																																						
	35,000	35,000	35,000	35,000																																																						
	実績																																																									
33,262																																																										
単位	件																																																									
R2	R3	R4	R5																																																							
1,500	1,500	1,500	1,500																																																							
実績																																																										
1,209																																																										
単位	件																																																									
R2	R3	R4	R5																																																							
1,500	1,500	1,500	1,500																																																							
実績																																																										
1,209																																																										
達成度	105%		81%		81%																																																					
分析	目標値より減少している		前年度より減少。新型コロナウイルス感染症の影響による受診控え等も影響していると思われる。		前年度より減少。新型コロナウイルス感染症の影響による受診控え等も影響していると思われる。																																																					

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③		健診受診により糖尿病等の生活習慣病が予防できる。				特定保健指導の利用率が向上する。				特定保健指導の利用を勧奨する。			
指標設定③	指標説明	生活習慣病の患者数				特定保健指導利用率 【算出式:利用者数/対象者数×100】				特定保健指導利用対象者数			
		単位		人		単位		%		単位		人	
	指標種類	減少することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標 (見込)	35,000	35,000	35,000	35,000	60	60	60	60	2,300	2,300	2,300	2,300
	実績	33,262				11.30				1,874			
	達成度	105%				19%				81%			
分析	目標値より減少している				新型コロナウイルス感染症の影響もあり、利用率の増加は少なかった。(R2はR3.6月末時点初回面接修了者数)				前年度より減少しているが、受診者数が減少しているためと思われる。(R2はR3.6月末暫定値)				

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	2.10
任期付職員	0.80
会計年度任用職員	1.65
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	20,394	25,410	20,143		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	2,348	2,189	4,083		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	22,742	27,599	24,226		
	物件費計	281,968	284,048	244,829	367,261	67%	
	歳出計	304,710	311,647	269,055			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	280,802	275,449	89,276	92,992		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	7,422	346	361		
	歳入計	280,802	282,871	89,622	93,353		
	一般財源	23,908	28,776	155,207	273,908		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症による緊急事態宣言の発出等の影響で、年度当初集団健診を休止する期間があった。その後集団健診の実施場所を保健センターに変更し、感染対策を講じながら実施体制を整えた。 感染拡大による受診控え等もあり、人間ドックや特定健診の受診が減り、特定保健指導においても利用率の増加は少なかった。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き健診の受診率向上や特定保健指導利用率の向上に向けて働きかけ、生活習慣病予防対策を推進する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	がん対策事業										
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部			課	地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち								
	実行計画名		6-1.保健医療制度の充実								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	不明		年度	~	年度まで
根拠法令等	健康増進法				
関係補助金名称	がん対策事業補助金			サンセット	2017(H29)年度 ~

事業対象	メインターゲット	各種がん検診の対象者
	サブターゲット	
	ターゲットが抱える課題	がん検診の受診率が低いと、個々の健康管理に役立てられない。また、健康の保持増進を図るためには正しい情報を得ることが必要である。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民一人ひとりが自己の健康(がん)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる
---------------------------	--

事業概要	<p>各種がん検診等の実施および啓発</p> <p>【健康増進法に基づく検診の実施】①大腸がん検診:40歳以上 300円 ②乳がん検診:40歳以上の女性(2年に1回の受診) 1,000円 ③子宮頸がん検診:20歳以上の女性 500円 ④胃がん検診:胃部X線検査 35歳以上 2,000円、胃内視鏡検査 50歳以上(2年度に1回) ⑤肺がん検診:40歳以上 300円 ⑥肝炎ウイルス検診:40歳以上で検診を受けたことがない人 1,000円</p> <p>乳がん検診について、2年に1回の受診から2年度に1回の受診へ変更。</p> <p>【がん検診推進事業】乳がん・子宮頸がん及び大腸がんの5歳刻みの対象者に対し無料クーポン券を送付。</p> <p>無料クーポン券の対象者の他に、①~⑤のがん検診について、好発年齢層への受診勧奨を実施(62・64・66・68歳 男女)</p> <p>②③のがん検診について、女性のがんの好発年齢層への受診勧奨を実施(52・54・56・58歳 女)</p> <p>【市独自施策による検診の実施】①前立腺がん検診:50歳以上の男性 500円 ②ピロリ菌検査:35歳以上60歳で検査を受けたことがない人 500円</p>
------	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	市民一人ひとりが自己の健康(がん)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる	市民が健診を受ける	健康増進法に基づく検診を実施する

指標設定	指標説明	精密検査の受診率 【算出式:精密検査受診者数/要精密検査者数×100】	大腸がん検診受診率(職場等で実施されているものを含む)	大腸がん検診の実施医療機関
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 %	単位 %	単位 箇所
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	指標数値	77 77 77 77	11.3 (40) 11.3 (40) 11.3 (40) 11.3 (40)	144 144 144 144
	指標数値	68.90	8.60	148
達成度	89%		103%	
分析	令和元年度受診者の要精密検査受診率である。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、想定より低かった。	市のがん検診の受診率は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、想定より低かった。職域を含むものは今年度は算出不可。 (H30年度アンケート調査で38.6%)	想定どおりであった。	

ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)
	市民一人ひとりが自己の健康(がん)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる	市民が検診を受ける	市独自施策による検診事業を実施する

指標設定②	指標説明	精密検査の受診率 【算出式:精密検査受診者数/要精密検査者数×100】	前立腺がん検診受診率	前立腺がん検診実施医療機関数
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 %	単位 %	単位 箇所
	指標数値	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	指標数値	77 77 77 77	12 12 12 12	150 150 150 150
	指標数値	68.90	8.90	152
達成度	74%		101%	
分析	令和元年度受診者の要精密検査受診率である。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、想定より低かった。	新型コロナウイルス感染症の影響もあり、低かった	想定どおりであった。	

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	1.90
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.11
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	45,162	23,891	15,153		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	596	492	155		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	45,758	24,383	15,308		
	物件費計	441,707	425,645	386,268	472,179	82%	
	歳出計	487,465	450,028	401,576			
歳入	国庫支出金	3,187	3,209	3,332	3,076		
	府支出金	14,922	22,118	22,171	24,316		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	18,109	25,327	25,503	27,392		
一般財源		469,356	424,701	360,765	444,787		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響で、受診率の低下は見られたが、受診率の低下を最小限に抑えるため、医師会の協力の元感染症対策を講じ、検診を止めることなく実施した。引き続き、がん検診の受診率向上及び検診の精度向上に取り組む。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	がん検診の啓発資材の変更や、ひらかたポイントの拡充など令和3年度の取組内容の分析を進めて、より効果的な方法を検討していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	歯科口腔保健推進事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	健康福祉部				課	地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
	施策目標		6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち											
	実行計画名		6-1.保健医療制度の充実											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業	
事業期間	不明		年度	~	年度まで	
根拠法令等	歯科口腔保健の推進に関する法律、健康増進法					
関係補助金名称					サンセット	~
関係附属機関名称						

事業対象	メインターゲット	歯と口腔の健康づくりに取り組むべき全市民										
	サブターゲット											
	ターゲットが抱える課題	かかりつけ歯科医を持ち専門職による定期的な介入の必要性がある。また、日常生活でのセルフケアなど、歯と口腔の健康づくりに取り組む必要がある。										
	ターゲットが抱える課題											

めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	市民一人ひとりが自己の健康(歯科口腔)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる												
---------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

事業概要	<p>平成28年度より口腔保健支援センターを設置し、歯科口腔保健施策を総合的に推進する。</p> <p>○歯周病検診事業(委託) 対象:満35・40・45・50・55・60・65・70歳 内容:問診・口腔内診査・口腔衛生指導等 料金:500円(市民税非課税世帯・生活保護受給者は検診料免除)</p> <p>○後期高齢者歯科健康診査事業(委託) 対象:75歳以上の生活保護受給者 内容:問診、口腔内診査、咀嚼能力評価、舌機能評価、嚥下機能評価等 料金:無料</p> <p>○成人歯科健康診査事業(直営) 対象:1歳6か月児健康診査と2歳6か月児歯科健康診査受診の保護者 内容 問診・口腔内診査・口腔衛生指導等 料金:無料</p> <p>○在宅訪問歯科健康診査事業(直営) 対象:18歳以上で歯科健診を受診することが困難な方 内容:問診・口腔内診査・口腔衛生指導等 料金:無料</p> <p>○障害者(児)施設歯科健康診査(委託) 対象:障害者支援施設、障害者入所施設・通所施設に入所・通所する障害者(児) 内容:問診・口腔内診査・口腔衛生指導 料金:無料</p> <p>○障害児歯科健康診査 対象:乳幼児健康診査に来所が困難な重症心身障害児・肢体不自由児・医療的ケア児 内容:1歳6か月、2歳6か月、3歳6か月の時期に、対象者の居宅又は保健センターにおいて、歯科診察・歯科保健指導・フッ素塗布・RDテスト(むし歯菌検査)を実施する。 料金:無料</p>												
------	---	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	市民一人ひとりが自己の健康(歯科口腔)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				市民が検診を受ける。				歯周病検診事業を実施する。		

指標設定	指標説明	歯周病検診の要治療者の受診率 【算出式:要治療者のうち受診した人数/要治療者数×100】				歯周病検診受診率				歯周病検診実施機関数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	92	92	92	92	4	5	5	6	171	171	171	171
	実績	71.30				4.05				173			
	達成度	78%				101%				101%			
分析	令和元年度受診者の要精密検査受診率である。想定よりやや少なかった。				新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、受診率は前年度よりやや増加した。				想定どおりであった。				

ロジックモデル②	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	市民一人ひとりが自己の健康(歯科口腔)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				市民が健診を受ける。				後期高齢者歯科健康診査事業を実施する。		

指標設定②	指標説明	歯周病検診の要治療者の受診率 【算出式:要治療者のうち受診した人数/要治療者数×100】				受診者数				実施機関数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	92	92	92	92	20	20	20	20	117	117	117	117
	実績	71.30				1				173			
	達成度					5%				148%			
分析	令和元年度受診者の要精密検査受診率である。想定よりやや少なかった。				想定よりかなり少なかった。				想定どおりであった。				

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル③		市民一人ひとりが自己の健康(歯科口腔)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				市民が健診を受ける。				成人歯科健康診査事業を実施する。			
指標設定③	指標説明	歯周病検診の要治療者の受診率 【算出式: 要治療者のうち受診した人数/要治療者数×100】				受診者数				実施回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	92	92	92	92	2,500	2,500	2,500	2,500	73	81	81	81
	実績	71.30				1,329				49			
	達成度	78%				53%				67%			
分析	令和元年度受診者の要精密検査受診率である。想定よりやや少なかった。				新型コロナウイルス感染症の影響で健診が中止となり、想定より少なかった。				新型コロナウイルス感染症の影響で健診が中止となり、想定より少なかった。				
ロジックモデル④		市民一人ひとりが自己の健康(歯科口腔)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				対象者が健康診査を受ける。				在宅訪問歯科健康診査事業を実施する。			
指標設定④	指標説明	歯周病検診の要治療者の受診率 【算出式: 要治療者のうち受診した人数/要治療者数×100】				受診者数				実施回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	92	92	92	92	2	2	2	2	2	2	2	2
	実績	71.30				1				1			
	達成度	78%				50%				50%			
分析	令和元年度受診者の要精密検査受診率である。想定よりやや少なかった。				想定どおりであった。				想定どおりであった。				
ロジックモデル⑤		市民一人ひとりが自己の健康(歯科口腔)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				対象者が歯科健康診査を受ける。				乳幼児健康診査に来所が困難な重症心身障害児、肢体不自由児、医療的ケア児を対象とした障害児歯科健康診査を実施する。			
指標設定⑤	指標説明	歯周病検診の要治療者の受診率 【算出式: 要治療者のうち受診した人数/要治療者数×100】				受診者数				実施回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	92	92	92	92	14	14	14	14	7	7	7	7
	実績	71.30				10				6			
	達成度	78%				71%				86%			
分析	令和元年度受診者の要精密検査受診率である。想定よりやや少なかった。				ほぼ想定どおりであった。				ほぼ想定どおりであった。				

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル⑥		市民一人ひとりが自己の健康(歯科口腔)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				対象者が歯科健康診査を受ける。				障害者支援施設、障害者入所施設・通所施設等に入所・通所する障害者(児)に対して、施設歯科健康診査を実施する。			
指標設定⑥	指標説明	歯周病検診の要治療者の受診率 【算出式: 要治療者のうち受診した人数/要治療者数×100】				障害者(児)施設歯科健康診査・障害児歯科健康診査受診者数				障害者(児)施設歯科健康診査・障害児歯科健康診査実施回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		92	92	92	92	215	215	215	215	32	32	32	32
		71.30				161				19			
	達成度	78%				75%				59%			
分析	令和元年度受診者の要精密検査受診率である。想定よりやや少なかった。				新型コロナウイルス感染症の影響もあり、想定より少なかった。				新型コロナウイルス感染症の影響もあり、想定より少なかった。				
ロジックモデル⑦		市民一人ひとりが自己の健康(歯科口腔)について関心を持ち、行動を起こし、いつまでも健康でいきいきと暮らすことができる。				障害者の特性や対応など、さまざまな状態に応じた知識及び技術を得ることができる。				歯科医療技術者養成講座を実施する。			
指標設定⑦	指標説明	歯周病検診の要治療者の受診率 【算出式: 要治療者のうち受診した人数/要治療者数×100】				養成者数				実施回数			
		単位		%		単位		人		単位		回	
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
		92	92	92	92	24	40	—	—	4	4	—	—
		71.30				8				0			
	達成度	78%				33%				0%			
分析	令和元年度受診者の要精密検査受診率である。想定よりやや少なかった。				令和2年度は中止となった為、増加せず。				新型コロナウイルス感染症の影響で実施に至らず。				

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	0.50
任期付職員	1.00
会計年度任用職員	0.99
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	17,393	12,895	8,232		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	2,200	1,919	2,851		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
	人件費計	19,593	14,814	11,083			
	物件費計	16,103	16,387	14,577	18,919	77%	
	歳出計	35,696	31,201	25,660			
歳入	国庫支出金	5,248	5,622	5,105	5,590		
	府支出金	2,470	3,765	3,919	4,358		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	0	0	0	0		
	歳入計	7,718	9,387	9,024	9,948		
	一般財源	27,978	21,814	5,553	8,971		

5. 総括的分析

総括的分析	歯周病検診については、年度当初の緊急事態宣言下において検診の一時中止などもあったが、検診機会を逸した人を対象に特例受診券の発行を行ったことや、案内ハガキの内容見直しなど効果があり、受診率の減少はなかった。 歯科医療技術者養成講座については、令和2年度は中止となったため、今後のすすめ方も含めて検討していく必要がある。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	歯科口腔保健計画の進捗も考慮しつつ、各種事業の受診率・利用率を伸ばしていけるよう、検討を重ねていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	糖尿病性腎症重症化予防事業											
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部			課	地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち										
	施策目標	6.誰もがいつまでも心身ともに健康に暮らせるまち										
	実行計画名	6-1.保健医療制度の充実										

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業	
事業期間	2017(H29)年度		年度	～	年度まで	
根拠法令等	決裁					
関係補助金名称					サンセット	～
関係附属機関名称						
事業対象	メインターゲット	国民健康保険加入者で糖尿病性腎症の重症化が懸念される人				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	健診結果や受診履歴から糖尿病性腎症の重症化のおそれがある				
	ターゲットが抱える課題					
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	糖尿病性腎症の重症化を予防する					
事業概要	特定健康診査結果から抽出された対象者に、医療専門職が主治医と連携のうえ、腎機能の維持・温存を目的とした個別的な保健指導(糖尿病性腎症重症化予防プログラム)を実施するとともに、プログラム修了者に対して事後フォローを行う。					

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル	アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
	糖尿病性腎症の重症化が予防される。	糖尿病性腎症の重症化が懸念される人の予防に対する意識が高まる。	糖尿病性腎症重症化予防事業を実施する。	
指標設定	指標説明	プログラム修了者が人工透析治療に移行した割合 【算出式:人工透析に移行した人数/プログラム修了者数×100】	糖尿病性腎症重症化予防プログラム修了後に、セルフモニタリングに関して行動変容した人の割合 (無関心から関心に移行した人の割合)	糖尿病性腎症重症化予防プログラムの参加者数
	指標種類	減少することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標
	指標数値	単位 %	単位 %	単位 人
	達成度	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5	R2 R3 R4 R5
	目標(見込み)	0 0 0 0	100 100 100 100	30 30 30 30
	実績	0	100	34
	分析	100%	100%	113%
継続した取り組みにより目標を達成。(平成29年度以降プログラム参加者への継続フォローを実施)	継続した取り組みにより目標を達成。	昨年度より参加者が増加。		

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	1.85
任期付職員	0.10
会計年度任用職員	0.93
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人員費	正職員、再任用、任期付	—	9,249	15,178	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	679	3,149	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人員費計	—	9,928	18,327	
	物件費計	—	7,212	5,214	8,356	62%
	歳出計	—	17,140	23,541		
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	
	府支出金	—	7,212	2,462	2,643	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計	—	7,212	2,462	2,643	
	一般財源	—	9,928	2,752	5,713	

5. 総括的分析

総括的分析	概ね目的は達成できている。 糖尿病性腎症の重症化予防のためには、継続した取り組みが必要であることから、今後もプログラム修了者に対しての継続サポートを実施するとともに、新たに必要な対象者が、プログラムにつながるよう取り組みを実施する。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	引き続き糖尿病性腎症の重症化予防のために継続したサポートを実施する

事務事業実績測定調査

事務事業名称	生活支援体制整備事業											
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部				課	地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当		
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4				
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標		8.安心して適切な医療が受けられるまち									
	実行計画名											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2015(H27)年度		年度	~	年度まで
根拠法令等	介護保険法、地域支援事業実施要綱(国)				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	65歳以上の元気な高齢者から要支援認定者等			
	サブターゲット	高齢者に関わる近隣・地域住民			
	ターゲットが抱える課題	加齢とともに身体能力が低下し、関係性の貧困など社会的孤立から暮らしの中でのちょっとしたことが解決できない。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	事業者だけでなく民生委員等の生活支援サービスを担う事業主体と住民が連携しながら、つながりや助け合いなど多様な日常生活上の支援体制の充実・強化及び高齢者の社会参加の推進を一体的に図ることで、誰もが役割や生きがいを持ち、暮らし続けたいと実感できる地域となっている。				
事業概要	「元気づくり・地域づくりプロジェクト」として、介護予防・生活支援サービス事業や介護予防事業等の事業内容や地域活動の支援策に対する意見交換や検討を行うため事業者と住民とで構成する市全域を担当エリアとする第1層協議体の運営、小学校区を担当エリアとする第2層協議体の設置及び運営支援を行う。あわせて、生活支援コーディネーター(地域支え合い推進員)を第1層協議体に配置し、第2層協議体への配置を支援し、第3層生活支援コーディネーターの養成と活動支援を行う。本市独自の生活援助訪問事業のサービス提供者である生活支援員の養成研修を実施する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		「元気づくり・地域づくりプロジェクト」が推進され、誰もが役割や生きがいを持ち、暮らし続けたいと実感できる地域となっている。				第2層協議体の設置が促進する。				第1層協議体を開催する。			
指標設定	指標説明	第2層協議体で実践するプラン達成率【算出式:プラン数/達成したプラン数×100】				ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定める目標値である設置校区数(ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)				ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定める目標値である開催回数(ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	100	100	100	100	40	41	42	43	3	3	3	3
	実績	100				42				2			
	達成度	100%				105%				67%			
分析	想定通りであった。				想定通りであった。				新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、2回の開催となった。				

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	1.44
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	8,428	8,498	11,484		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	8,428	8,498	11,484		
	物件費計	19,719	30,530	27,170	33,355	81%	
	歳出計	28,147	39,028	38,654			
歳入	国庫支出金	7,592	11,754	1,014	1,014		
	府支出金	3,796	5,877	5,680	5,623		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	35	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	4,535	7,022	3,132	3,143		
	歳入計	15,923	24,688	9,826	9,780		
一般財源		12,224	14,340	17,344	23,575		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、第1層協議体は2回の開催となり、第2層協議体では少人数制や屋外での活動など出来る範囲で工夫をしながらの活動となった。生活支援員養成研修についても2回の開催となった。(予定は6回)
-------	---

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	全小学校区に第2層協議体が設置されるような働きかけを継続し、実際に取り組まれている事例や助け合い活動に発展した取組み等の情報を共有することで、継続した活動となるよう、それぞれの地域に応じた助け合いや支え合いなど地域づくりの支援を図る。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	介護予防・生活支援サービス事業										
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部			課	地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名	9-3.介護事業の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2017(H29)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	介護保険法、介護予防・日常生活支援総合事業ガイドライン(国)、地域支援事業実施要綱(国)				
関係補助金名称					サンセット
関係附属機関名称					

事業対象	メインターゲット	要支援認定を受けた者等
	サブターゲット	介護事業者等
	ターゲットが抱える課題	加齢等に伴う心身機能の低下により、日常生活を送る上で不自由や困難な状況がある。
	ターゲットが抱える課題	

めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)
 要支援者等の能力を最大限いかしつ、要支援者等の状態等に応じたサービスが選択でき、状態の改善もしくは維持(悪化の防止)できるサービスを効果的かつ効率的に実施することで、誰もが役割や生きがいを持ち、暮らし続けたいと実感できること。

事業概要
【1.訪問型サービス】
 ①予防訪問事業(現行相当サービス)、②生活援助訪問事業(A・基準緩和サービス)、③活動移動支援事業(B・住民主体サービス)、④通院等移動支援事業(D・移動支援サービス)
【2.通所型サービス】
 ①予防通所事業(現行相当サービス)、②教室型通所事業(A・基準緩和サービス)
【3.その他の生活支援サービス】
 ①リハ職訪問通所指導事業(自立支援サービス)、②リハ職行為評価事業(自立支援サービス)、③栄養士派遣指導事業(自立支援サービス)
【4.介護予防ケアマネジメント】
 要支援認定者等の自立支援・重度化防止を目的に上記の事業を整備し、効果を分析・検証しながら効果的かつ効率的な事業実施に努めている。

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		要支援者等が役割や生きがいを持ち、暮らし続けたいと実感する。				要支援者等がサービスを受ける。				サービスを設定し、実施方法(指定・直営・委託・補助)を決定する。			
指標設定	指標説明	ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定めるリハ職訪問通所指導事業利用者の状態改善率(ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定) 【算出式: 目標達成者数/事業利用者数×100】				ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定める事業費(ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)				ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定めるサービスの種類(ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	60	90	90	90	1,425,870,000	1,550,000,000	1,650,000,000	1,750,000,000	9	9	9	9
	実績	94				842,870,499				9			
	達成度	157%				59%				100%			
	分析	想定通りであった。				新型コロナウイルス感染症の感染拡大でサービスの変更や事業所の一時閉鎖などの影響により、前年度に比べ減少した。				想定通りであった。			

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.14
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	9,064	9,139	9,092		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	1,333	1,444	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	10,397	10,583	9,092		
	物件費計	1,000,744	942,234	838,910	1,417,937	59%	
	歳出計	1,011,141	952,817	848,002			
歳入	国庫支出金	228,670	221,613	350,170	432,294		
	府支出金	125,093	117,779	138,764	179,246		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	500,372	471,117	260,490	323,047		
	歳入計	854,135	810,509	749,424	934,587		
	一般財源	157,006	142,308	89,486	483,350		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の影響でサービス利用量の減少があったものの、本市独自サービスについては感染拡大時には集団ではなく個別訪問にサービスを変更する等によりサービス提供体制を確保した。また、専門職以外の担い手(生活支援員)がサービスを提供している生活援助訪問事業の利用者数は増加している。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	事業効果の分析・検証から、効果的かつ効率的な事業構築に向け、新たな事業の創設等、適宜、事業の見直しを行っていく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	高齢者居場所支援事業													
測定年度	2020(R2)年度				部	健康福祉部				課	地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当			
市長公約との関係	所信表明	○	市政運営方針	R2		R3		R4						
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち											
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち											
	実行計画名		9-2.高齢者の生きがいづくりと外出支援											

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業	
事業期間	2005(H17)年度		年度	～	年度まで	
根拠法令等	枚方市高齢者居場所づくり補助金交付要綱、枚方市街かどデイハウス事業補助金交付要綱					
関係補助金名称	枚方市高齢者居場所づくり事業補助金、枚方市街かどデイハウス事業補助金		サンセット	2019(R1)年度	～	2019(R1)年度
関係附属機関名称						

事業対象	メインターゲット	65歳以上の高齢者、65歳以上の高齢者を中心としたグループ				
	サブターゲット					
	ターゲットが抱える課題	加齢に伴う心身機能の変化や関係性の希薄化が生じている。				
	ターゲットが抱える課題					

めざす姿、あるべき姿
(課題が解決した状態)
地域の中で自由に集い、交流することができる場所を増やすことで、社会参加や介護予防活動につながり、助け合いや支え合いの活動へ発展することにつながり、誰もが役割や生きがいを持ち、暮らし続けたいと実感できること。

事業概要
平成29年8月から高齢者居場所づくり事業として、居場所の登録と公開、実施場所の改修費用等の一部についてお達者基金を財源として補助金交付を実施している。なお、平成17年度から平成28年度までは、お達者基金を活用し、「自分できぼう健康ライフ事業」として広報ひらかたで実施事業者を公募し、事業者の企画について、目的や内容を選定部会で審議の上、実施事業者を選定。選定された企画内容のうち講師謝礼の費用を市が負担することで介護予防教室の実施を支援していた。また、高齢者居場所や街かどデイハウスなど、多様な高齢者の通いの場を支援する事業として実施する。

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)			
ロジックモデル		高齢者の社会参加や介護予防が促進する。				高齢者居場所の周知により、活動が活発化また継続する。				高齢者の通いの場である高齢者の居場所を把握し、周知する。			
指標設定	指標説明	通いの場への参加率 【算出式:通いの場への実参加者数/高齢者人口×100】				活動実績を求める高齢者居場所と街かどデイハウス事業の延べ参加者数				活動を把握したうえで、公開の同意を得た場所の数			
	指標種類	増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	6	8	8	8	100,000	110,000	110,000	110,000	100	120	120	120
	実績	6				61,996				116			
	達成度	100%				62%				116%			
分析	コロナ禍の活動自粛の影響で昨年度に比べ減少した。				同左				想定通りであった。				

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	1.03
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	8,190	8,258	8,214		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	0	0	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	8,190	8,258	8,214		
	物件費計	49,856	42,862	31,295	44,000	71%	
歳出計		58,046	51,120	39,509			
歳入	国庫支出金	0	0	0	0		
	府支出金	0	0	0	0		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	8,287	2,442	0	0		
	歳入計	8,287	2,442	0	0		
一般財源		49,759	48,678	31,295	44,000		

5. 総括的分析

総括的分析	新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、高齢者居場所等では活動自粛や、再開に向けた感染対策の検討など手探りの中での取組みとなるなか、各グループの代表者等からの問い合わせや相談が多く寄せられた。適宜、郵送等で情報の提供を行い、適切なサポートに努めた。
-------	---

6. 今後の方向性

区分	見直し
今後の取組方針	高齢者居場所と街かどデイハウスにおいて継続した運営や活動ができるための支援体制の整備など、助け合いや支えあいの活動への発展につながる効果的な支援方法を検討する。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	介護予防普及啓発事業										
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部			課	地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標		2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち								
	施策目標		9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち								
	実行計画名		9-3.介護事業の充実								

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2006(H18)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	介護保険法、地域支援事業実施要綱(国)				
関係補助金名称			サンセット		～
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市の第1号被保険者(65歳以上の高齢者)			
	サブターゲット				
	ターゲットが抱える課題	加齢等に伴う心身機能の変化と日常生活への影響への対応に関する意識が低く、健康状態の悪化に伴い、生きがいや役割を喪失する。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	加齢に伴う心身機能の変化等を理解し、年を重ねても心豊かに、常に役割や目標を持って元気に生活でき、つながりを持つことで、誰もが役割や生きがいを持ち、暮らし続けたいと実感できること。				
事業概要	虚弱な高齢者(フレイル)を把握するため地域に向いて健康相談を実施し、必要に応じて訪問指導を実施する。介護予防(フレイル予防)等に関する動機付けを目的とした単発の事業、外出や健康づくりの習慣化を目的とした事業を開催し、介護予防に関する基本的な知識の普及啓発を行う。具体的には各種講座を開催する高齢者健康づくりプロジェクト、地域で気軽に介護予防の意識づくりの場の開催を地域包括支援センター等に委託を行い実施している。また、介護予防に興味・関心がない層への効果的なアプローチ方法として検証を続けている商業施設や駅前の公園等でのイベント(健活フェスタ)を開催する。				

2. ロジックモデル及び指標設定

ロジックモデル		アウトカム (活動効果)	アウトプット (活動結果)	インプット (活動)	
ロジックモデル		介護予防への意識が高まり、役割や生きがいを実感する。	介護予防に関する基本的な知識が普及する。	介護予防に関する啓発事業を実施する。	
指標設定	指標説明	ひらかた元気くらわんか体操等実践グループにおける主観的健康観が向上する人の割合【算出式: 向上した人数/参加者全体数×100】	「健活フェスタ」や身近な場所で開催する介護予防教室等への参加者数	介護予防に興味・関心がない層への効果的なアプローチ方法である「健活フェスタ」の開催回数	
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	
	指標数値	単位: %	単位: 人	単位: 回	
	指標数値	目標(見込み)	R2: 30, R3: 30, R4: 30, R5: 30	R2: 25,000, R3: 25,000, R4: 25,000, R5: 25,000	R2: 1, R3: 1, R4: 1, R5: 1
	指標数値	実績	85	5,273	1
	達成度	283%	21%	100%	
	分析	コロナ禍でも集まれる場があったことが健康観の向上につながった。	緊急事態宣言発令等での教室の延期・中止によりオンライン教室以外の開催回数が激減	複数の商業施設のロビーにおいて7日間連続でコロナ禍での介護予防の映像を放映	
ロジックモデル②		介護予防への意識が高まり、役割や生きがいを実感する。	高齢者が生きがいやチャレンジ精神を持つ。	生きがい創造学園を開催する。	
指標設定②	指標説明	ひらかた元気くらわんか体操等実践グループにおける主観的健康観が向上する人の割合【算出式: 向上した人数/参加者全体数×100】	生きがい創造学園参加者数	生きがい創造学園の開催講座数	
	指標種類	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	増加することが良いとされる指標	
	指標数値	単位: %	単位: 人	単位: 回	
	指標数値	目標(見込み)	R2: 30, R3: 30, R4: 30, R5: 30	R2: 450, R3: 450, R4: 450, R5: 450	R2: 17, R3: 17, R4: 17, R5: 17
	指標数値	実績	85	0	0
	達成度	283%	0%	0%	
	分析	コロナ禍でも集まれる場があったことが健康観の向上につながった。	緊急事態宣言発令により開講できなかった。	同左	

3. 人員体制 (人)	
	R2
正職員(再任用)	1.39
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.30
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	11,052	17,557	11,085	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	618	1,601	642	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	11,670	19,158	11,727	
	物件費計	35,109	35,859	35,064	58,429	60%
	歳出計	46,779	55,017	46,791		
歳入	国庫支出金	7,674	8,434	14,058	17,469	
	府支出金	4,198	4,482	5,757	7,436	
	受益者負担(使用料・手数料)	1,524	1,834	0	0	
	市債	0	0	0	0	
	その他	16,793	17,930	10,824	14,891	
	歳入計	30,189	32,680	30,639	39,796	
	一般財源	16,590	22,337	4,425	18,633	

5. 総括的分析

総括的分析 新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、全国に先駆けて4月からリハビリテーション専門職と利用者が相互に双方向コミュニケーションをとりながら運動を実施できるオンライン教室(エクサルク教室)を開催、感染状況が落ち着いた10月からは会場及びオンライン上で、同空間を共有するハイブリット教室を開催、12月にはご近所運動教室もオンライン教室の開催を開始した。

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	教室や講座への参加者の増加にとどまらず、自主的に社会活動や健康づくりに取り組めるよう地域を基盤にした継続的な介護予防活動ができる支援体制に重点を置き、介護予防活動につながる新たなツールの検討や支援体制の構築等の取組みを推進していく。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	地域介護予防活動支援事業										
測定年度	2020(R2)年度			部	健康福祉部			課	地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当		
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針	R2		R3		R4			
総合計画体系	基本目標	2.健やかに、生きがいを持って暮らせるまち									
	施策目標	9.高齢者が地域でいきいきと暮らせるまち									
	実行計画名	9-3.介護事業の充実									

1. 事務事業の概要

種類	市民サービス	特性	選択的事業	区分	一般事務事業
事業期間	2006(H18)年度		年度	～	年度まで
根拠法令等	介護保険法、地域支援事業実施要綱(国)				
関係補助金名称		サンセット		～	
関係附属機関名称					
事業対象	メインターゲット	枚方市の第1号被保険者(65歳以上の高齢者)、第1号被保険者を中心としたグループ			
	サブターゲット	医療・介護関係機関			
	ターゲットが抱える課題	加齢に伴う心身機能の変化や関係性の希薄化による社会的孤立が生じている。			
	ターゲットが抱える課題				
めざす姿、あるべき姿(課題が解決した状態)	加齢に伴う心身機能の変化等を理解し、年を重ねても心豊かに、常に役割や目標を持って元気に生活でき、自主的な活動を支援することでつながりを持ち、暮らし続けたいと実感できること。				
事業概要	健康講座や介護予防に関するボランティアリーダーを「生き生き健康スポーツレクリエーションリーダー」として、枚方市老人クラブ連合会と協力し養成のための研修を実施していたが、平成29年度から「ひらかた元気くらわんか体操」普及リーダー講習に変更した。また、「ひらかた元気くらわんか体操」を自主的に週1回以上集まって実践するグループを増やし、継続するモチベーションを維持するための支援を行う。				

2. ロジックモデル及び指標設定

		アウトカム(活動効果)				アウトプット(活動結果)				インプット(活動)			
ロジックモデル		「ひらかた元気くらわんか体操」の普及を通じて、高齢者のつながりが育まれる。				「ひらかた元気くらわんか体操」実践グループが増加する。				「ひらかた元気くらわんか体操」普及リーダー養成講座を開催する。			
指標説明		主観的健康観が向上する人の割合 【算出式: 向上した人数 / 参加者全体数 × 100】				ひらかた高齢者保健福祉計画21(第7期)において定める「ひらかた元気くらわんか体操」実践グループ数(ただし、令和3年度から第8期計画で新たに設定)				「ひらかた元気くらわんか体操」を普及するリーダーを養成するための講座の開催回数			
指標種類		増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標				増加することが良いとされる指標			
指標設定	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5
	目標(見込み)	30	30	30	30	190	300	310	320	3	3	3	3
		実績	85			301				3			
達成度		283%				158%				100%			
分析		コロナ禍でも集まれる場があったことが健康観の向上につながった。				新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、昨年度実績からの微増に留まった。				想定通りであった。			

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	1.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人件費については、人員配置をもとに平均人件費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人件費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人件費」「臨時職員人件費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人件費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率	
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	3,976	4,890	7,975		
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	334	797	0		
		特別職非常勤	—	—	0		
		附属機関委員	—	—	0		
		人件費計	4,310	5,687	7,975		
	物件費計	12,070	10,601	10,350	25,609	40%	
歳出計		16,380	16,288	18,325			
歳入	国庫支出金	2,758	2,493	4,183	5,198		
	府支出金	1,509	1,325	1,713	2,213		
	受益者負担(使用料・手数料)	0	0	0	0		
	市債	0	0	0	0		
	その他	6,035	5,301	3,214	3,986		
	歳入計	10,302	9,119	9,110	11,397		
一般財源		6,078	7,169	1,240	14,212		

5. 総括的分析

総括的分析	コロナ禍で集団でのウォーキングが難しいため、個人個人での活動となるなか、モチベーションを維持し、継続してもらうため、グループで歩数を共有するなど、仲間とのつながりを意識した活動に再編したノルディック・ウォーキング実践グループ(くらわんかウォーカーズ)が53グループとなった。また、効果の見える化を図るための意見交換や体力測定等の実施はできなかったが、歩数の報告やアンケート調査により実態把握に努めた。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	拡充
今後の取組方針	第3の介護予防ツール「ひらかた夢かなえるエクササイズ」を用いたグループ活動の支援体制を構築する。また、ノルディック・ウォーキング実践グループ(くらわんかウォーカーズ)とひらかた元気くらわんか体操実践グループの増加にも努める。

事務事業実績測定調査

事務事業名称	地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当運営事務													
測定年度	2020(R2)年度				部	健康福祉部				課	地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当			
市長公約との関係	所信表明		市政運営方針		R2	R3		R4						
総合計画体系	基本目標		9.施策体系外											
	施策目標		99.施策体系外											
	実行計画名													
1. 事務事業の概要														
種類	内部管理			特性	庶務的事務			区分	庶務的内部管理事務					
事業期間	2020(R2)年度				年度	~		年度まで						
根拠法令等	決裁													
関係補助金名称								サンセット	~					
関係附属機関名称														
事業対象	メインターゲット		地域健康福祉室 健康増進・介護予防担当に在籍する職員											
	サブターゲット													
	ターゲットが抱える課題		課の運営を円滑に図る必要がある											
	ターゲットが抱える課題													
めざす姿、あるべき姿 (課題が解決した状態)	健康増進・介護予防担当所管事務の適正かつ効率的な執行を図る。													
事業概要	課の運営業務													
2. ロジックモデル及び指標設定														
ロジックモデル	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
指標設定	アウトカム (活動効果)				アウトプット (活動結果)				インプット (活動)					
	指標説明		単位		単位		単位							
	指標種類													
	指標数値	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	R2	R3	R4	R5	
		目標 (見込み)												
	実績													
達成度														
分析														

3. 人員体制 (人)

	R2
正職員(再任用)	1.00
任期付職員	0.00
会計年度任用職員	0.00
特別職非常勤	0.00
附属機関委員	0.00

※「正職員、再任用、任期付」の人員費については、人員配置をもとに平均人員費を乗算しています。
 ※R2年度から会計年度任用職員制度が創設されたこと等に伴い、H30年度、R1年度の「人員費_会計年度任用職員」欄については、過去の調書の「非常勤職員人員費」「臨時職員人員費」の合計を転記しています。
 ※「歳入計」欄および「一般財源」欄には物件費に充当されるものを記載していますが、H30年度、R1年度は人員費に充当されるものも含まれています。(千円)

4. 決算額

		H30決算額	R1決算額	R2決算額	(参考)R2予算額	(参考)予算執行率
歳出	人件費	正職員、再任用、任期付	—	12,026	7,975	
		会計年度任用職員(時間外、交通費等含む)	—	0	0	
		特別職非常勤	—	—	0	
		附属機関委員	—	—	0	
		人件費計	—	12,026	7,975	
	物件費計	—	5,086	0	0	—
	歳出計	—	17,112	7,975		
歳入	国庫支出金	—	0	0	0	
	府支出金	—	0	0	0	
	受益者負担(使用料・手数料)	—	0	0	0	
	市債	—	0	0	0	
	その他	—	0	0	0	
	歳入計	—	0	0	0	
	一般財源	—	17,112	0	0	

5. 総括的分析

総括的分析	課の文書・人事・財務その他庶務事務の総括、課の予算編成及び執行管理を適切に実施した。
-------	--

6. 今後の方向性

区分	現状維持
今後の取組方針	今後も適正かつ効率的な執行に努める。